



神戸大学・中国地質大学(武漢)
2007年崗日嘎布(カンリガルホ)山群偵察隊計画書



ルオニイ峰

神戸大学山岳部・山岳会

2007年10月



はじめに

神戸大学山岳会は1986年、チベットとブータンとの国境近くのクーラカンリ峰(7554m)の初登頂に成功し、さらに、88年には中国地質大学(武漢)山岳部と神戸大学山岳部との合同で、四川省の雀兒山(チエールー山)初登頂に成功しました。

さらにインド、ビルマ国境に近い崗日嘎布山群の若尼峰(ルオニイ峰)初登頂を計画し、2002年に同山群へ偵察隊を派遣し、2003年にはチベット登山学校の生徒と拉古村民の協力を得て、若尼峰の登頂を試みましたが、長期間の悪天のために登頂を断念しました。

この山群は長らく外国人の立ち入りが制限されていたため、この地域に存在する高峰の大部分が未踏峰であり、地理的にも未知の部分が多く、たいへん魅力的な地域です。その後、この崗日嘎布山群の研究をさらに進めると、若尼峰と同程度の高峰が他に2峰あることがわかりました。(我々はこの3つの峰を3姉妹峰と呼ぶことしました)

そこでこのたび、神戸大学山岳部・山岳会は、2007年秋に、再度崗日嘎布山群の最高峰を確認し、登路を偵察する計画を立て、現在準備をすすめています。

一方2008年はチエールー山初登頂の20周年という記念すべき年に当たります。このことを記念して、2008年には中国地質大学(武漢)と合同で、崗日嘎布山群の最高峰やその姉妹峰へ登山隊を派遣する計画で中国登山協会の許可も入手できることとなりました。

この登山計画を中国地質大学(武漢)山岳協会と合同で行うことを通して、日中友好をより一層深めることができれば嬉しく思います。

本計画に格別のご支援を賜りますようよろしくお願いします。

2007年10月

神戸大学山岳部部長 乙藤洋一郎
神戸大学山岳会会长 井上達男



1. 隊の名称

神戸大学・中国地質大学崗日嘎布(カンリガルボ)山群学術登山隊

2. 目的

- ① 崗日嘎布山群 3姉妹峰の比高確認及び周辺地形調査
- ② 3姉妹峰の登路観察
- ③ 2008年本隊に向けた現地状況の確認

<偵察活動方針>

- ア 3姉妹峰がすべて望見可能な山麓地点(概念図エリア②を予定)より三角測量により比高の測定と写真撮影により最高峰を確認する。
 - イ Ata氷河にベースキャンプ、前進キャンプ(C1)を進め、氷河上(エリア③、④)より3姉妹峰の登路観察と写真撮影を行う。
 - ウ アタカンラ(エリア⑤)よりルオニイ峰の登路を確認する。
- ただし、天候条件等によりア、イ、ウすべての偵察活動ができない場合は上記の順に優先する。

3. 期間(予定)

2007年10月25日—11月27日

4. 行動予定

関空—武漢—昆明—中甸(飛行機)(2日)

中甸—然烏—拉古(車)(3日)

〈偵察活動〉(実働 11日 高度順応、予備日12日)

エリア①にて高度順応(1日)

エリア②にて三姉妹峰ならびに周辺ピークの撮影および測量(2日)

BC—C1(ルート工作、荷揚げ3日、移動1日)

エリア③にて写真撮影、ルート確認(1日)

エリア④にて写真撮影、ルート確認(1日)

エリア⑤からの写真撮影、C1—BC—拉古(2日)

拉古—然烏—中甸(車)(4日)

中甸—昆明—関空(飛行機)(2日)

※偵察活動の「エリア①、②、③、④、⑤」については、下記概念図を参照のこと

5. 隊の構成

(日本側)	隊長	山田健	兵庫県職員 52歳	
			(1986 年神戸大学チベット学術登山隊隊員)	
	隊員	近藤昂一郎	神戸大学理学部学生 21歳	
	隊員	岩澤貴士	神戸大学発達科学部学生 21歳	
(中国側)	隊長	牛小洪	中国地質大学体育部副教授 39歳	
	副隊長	周云	中国地質大学体育部講師 36歳	
	隊員	李倫	中国地質大学体育部講師 30歳	
	隊員	石磊	中国地質大学地学院研究生 27歳	
				合計 7人

6. 実行委員会本部

井上達男 523-0894 滋賀県近江八幡市中村町 37-10 ウインズ 22 111 号
 電話・ファックス 0748-33-9359
 電子メール sherpikangri@aol.com

7. 位置図



9. 概念図

